

備前市事務事業評価表

事務事業名	観光施設整備事業（日生）	コード	04-03-01-10
		担当課・係	日生総合支所産業建設課
事業実施期間		担当者	星尾 靖行
		電話	72-1254
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり	
	小項目(施策)	観光（観光地の整備）	

事業について	
目的 (何のために)	観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し観光客の誘客を図る。
対象 (誰・何を対象に)	観光客・市民
内容	まほろば高床式住居の屋根の葺き替え及び海水浴場の整備

事業の結果			
実施項目	17年度		18年度
	回数など	(単位)	回数など (単位)
まほろば屋根の葺き替え	2棟		3棟
海水浴場の整備	2箇所		2箇所
事業費 (単位：千円)	事業費		事業費
	直接事業費	2,659	直接事業費
	人件費	1,821	人件費
	合計	4,480	合計
	財源	一般財源等	財源
		4,480	
必要人員	0.23人		0.12人
結果指標	結果指標名	施設整備	施設整備
	結果指標量	4	5
	単位	棟(箇所)	棟(箇所)
	対前年比	-	125.00%
	活動にかかるコスト	4,480,000円	10,640,000円
	単位当たりコスト	1,120,000円	2,128,000円
結果指標	結果指標名		
	結果指標量		
	単位		
	対前年比	-	
	活動にかかるコスト		
	単位当たりコスト		
事業の成果	どのような成果を得ようとしているか	有効な観光施設を整備することで観光客の誘客を図る。	
成果指標名	施設整備	式又は説明	平成17年度よりまほろばの屋根葺き替え工事は一部繰越、計画どおり整備完了
		17年度	18年度
	成果指標量	4	
	対前年比	-	0.00%
到達目標値	適正な施設管理	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A-E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り観光客の誘客に結びつけることが重要である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事業効果を検証しながら最新のニーズに対応できるよう整備する必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業効果を検証しながら最新のニーズに対応できるよう整備する必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 まほろば屋根の葺き替えは、平成19年度は計画なし。また、海水浴場の整備は砂の均しのみである。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	5
	成果指標量	適正な施設整備
総合評価		評価区分 <A-E> B
観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り観光客の誘客に結びつけることが重要である。また、事業効果を検証しながら最新のニーズに対応に対応ができるよう整備する必要がある		

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	観光客のタイムリーなニーズをつかむ必要がある。	随時	適正な管理と観光客の増加